



音楽の指導に求められる豊かな感性を育む。

「音楽と人間、音楽と社会」との関係を深く研究していくために、教育科目、教養科目を幅広く学びます。

多様な音楽実践を通して音楽の奥深さを体験し、仲間たちとの音楽づくりを通して、音楽を人に伝える方法を思考できる能力を養います。自らの音楽体験と学校の音楽とのつながりを考え、より専門的な能力を培います。



音楽科学内演奏会



小学校訪問演奏会

4年間の学び

1・2年次には、音楽理論、ソルフェージュ、作曲法、ピアノ、声楽、合唱、管打楽器と音楽科教育法を、そして3・4年次は、合奏や合唱指導法、和楽器や実践的な音楽科教育法と教育実習に関することも学びます。さらに4年次では器楽、声楽、作曲、音楽科教育学のいずれかの分野を選び、卒業研究に向けてより深く研鑽を積みまします。例えば3年次の「合奏」では、前期は吹奏楽、後期ではチームに分かれてアンサンブルを行い、学期末に小学校で「出前コンサート」を開催して学修の成果を披露します。リアルな反応を示す子どもたちの輝く瞳や後日送られてくる感想文は、学生の励みになるとともに教職へ意欲関心を高めるきっかけにもなっています。

取得できる免許

〔卒業要件に含める免許状〕

小学校教諭一種免許状
中学校教諭二種免許状(音楽)

〔取得を優先して薦める免許状〕

中学校教諭一種免許状(音楽)

〔所定の科目履修で取得可能とする免許状〕

高等学校教諭一種免許状(音楽)
◎幼稚園教諭二種免許状
◎特別支援学校教諭二種免許状

◎の免許状は、いずれか1つを選択し取得を目指すことが可能です。

先輩Voice

学校教員養成課程 義務教育専攻 音楽専修4年
愛知県立豊橋東高等学校出身



音楽を心から楽しんで
自由な発想で学びを広げる、
そんな授業を届けることが目標です。

本専修の魅力は、心から音楽を楽しむこと。作詞作曲や劇づくりを通じて表現の楽しさを実感し、作曲の授業では自由な発想で音を作り出す喜びを学びました。また、基礎から専門まで幅広く学べる環境が整っており、練習室では個人練習や友人とのアンサンブルで演奏技術を磨けます。学生が企画運営する演奏会など、各自が趣向を凝らした演奏を表現する場もあります。私の目標は、小学校教員として子どもに音楽の楽しさを伝えること。大学での学びを生かし、実体験を重視した授業を提供していきたいです。

■ 2023年 2年次前期の時間割 (例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	初等社会科 教育内容A	作曲概論	初等音楽科 教育法B	初等算数科 教育内容A	
2時限	初等図画工作科 教育内容A	スポーツII	初等体育科 教育法A		
3時限		英語コミュニ ケーションII	この時間を使って 「学校体験活動I」 の事前指導や ガイダンスを行う ことがあります。	合唱I	ポルトガル語II
4時限	教育システム論				管弦打I
5時限	知的障害者の 教育課程・指導法	ピアノ実習I			管弦打I